

京島アカデミックハウス ランドスケープ提案

2022.02.17

ランドスケープ学コース M1 加藤里菜・鍋島敦仁



■提案：1本の曲線型のレインガーデン

この庭はほとんどが土のため、降った雨はすぐに地面の中に吸い込まれてしまう。そこで庭に溝を掘って、レインガーデンをつくることで、水が溜まって段々と消えていく景色を眺められるようにする。

曲線型の溝は、場所に応じて植物の有無・高さが異なっていて、雨が降らないときには、縁側から足を伸ばせる場所や、ツリーハウスへの入り口、縁側から植物が風にそよぐ景色、などとして楽しむことができる。

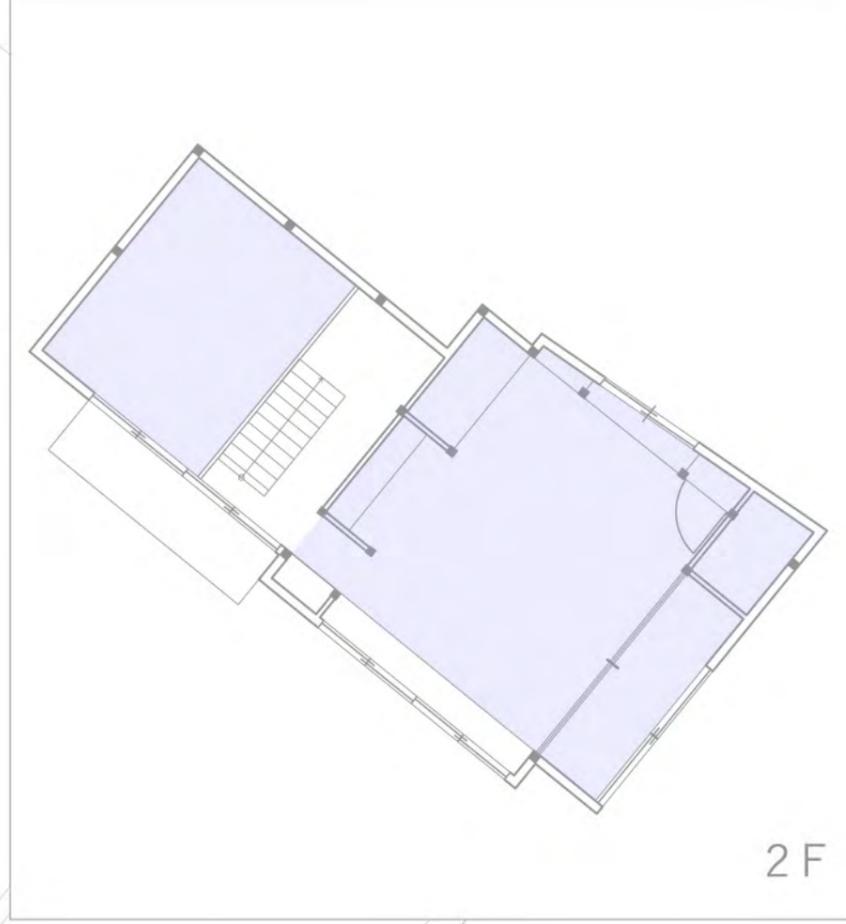
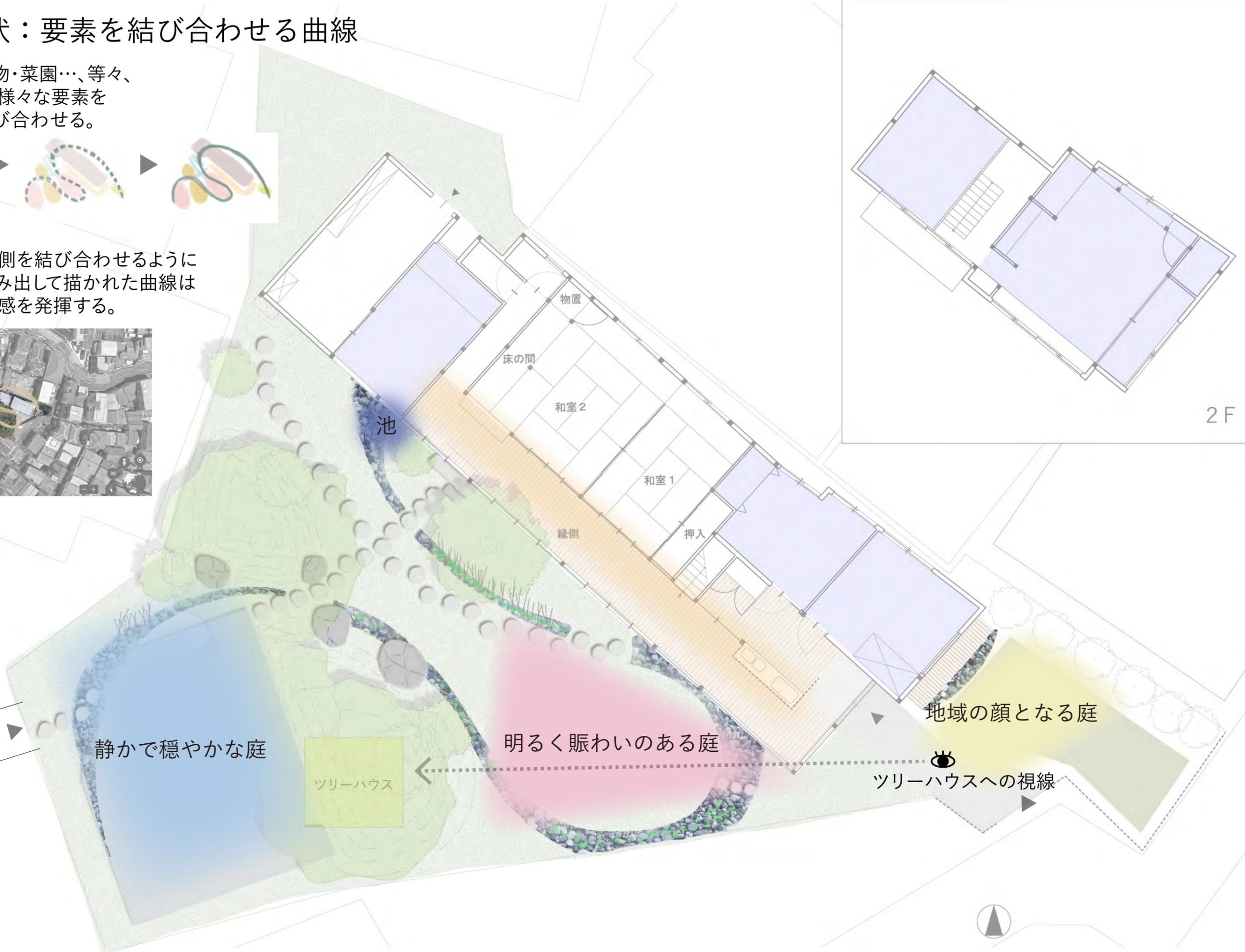


■平面形状：要素を結び合わせる曲線

庭・池・縁側・建物・菜園…、等々、敷地の中にある様々な要素を1本の曲線で結び合わせる。



敷地の内側と外側を結び合わせるように境界から少しはみ出して描かれた曲線は地図上でも存在感を発揮する。



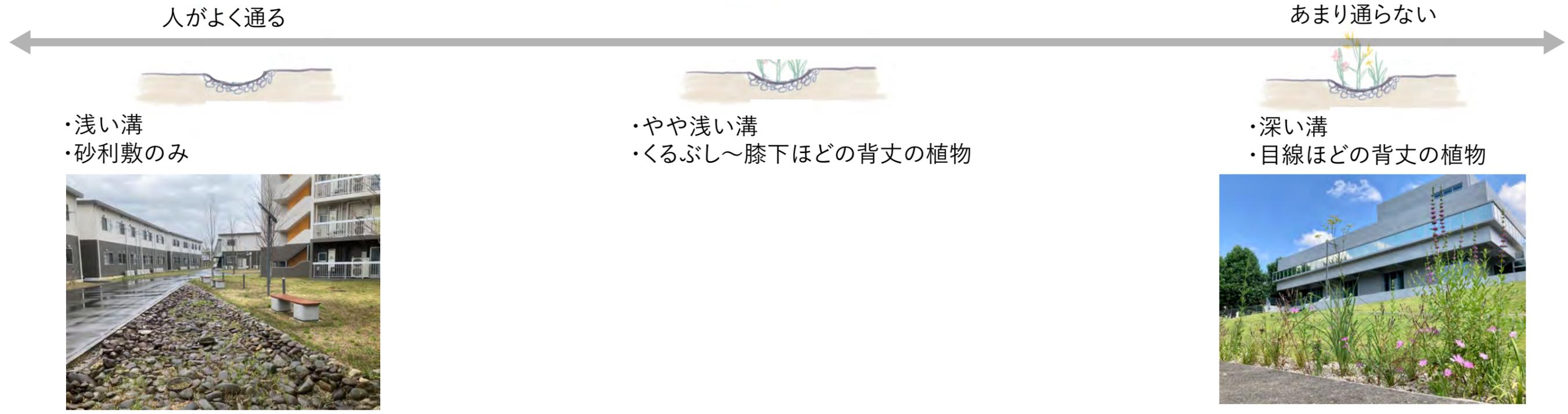
2F



■機能：レインガーデン × 境界線/居場所/子供の遊び場...

■ レインガーデン=雨水をゆっくり浸透させる場所
 雨の日に地面に水がゆっくり染み込んでいく景色を見せる。
 砂利の下には水を通しにくい層(粘土層/防水シートなど)を敷く。

■ 場所によって変わる溝の深さ・植栽の高さ



■ 子供たちの遊び場となる”曲線”のイメージ

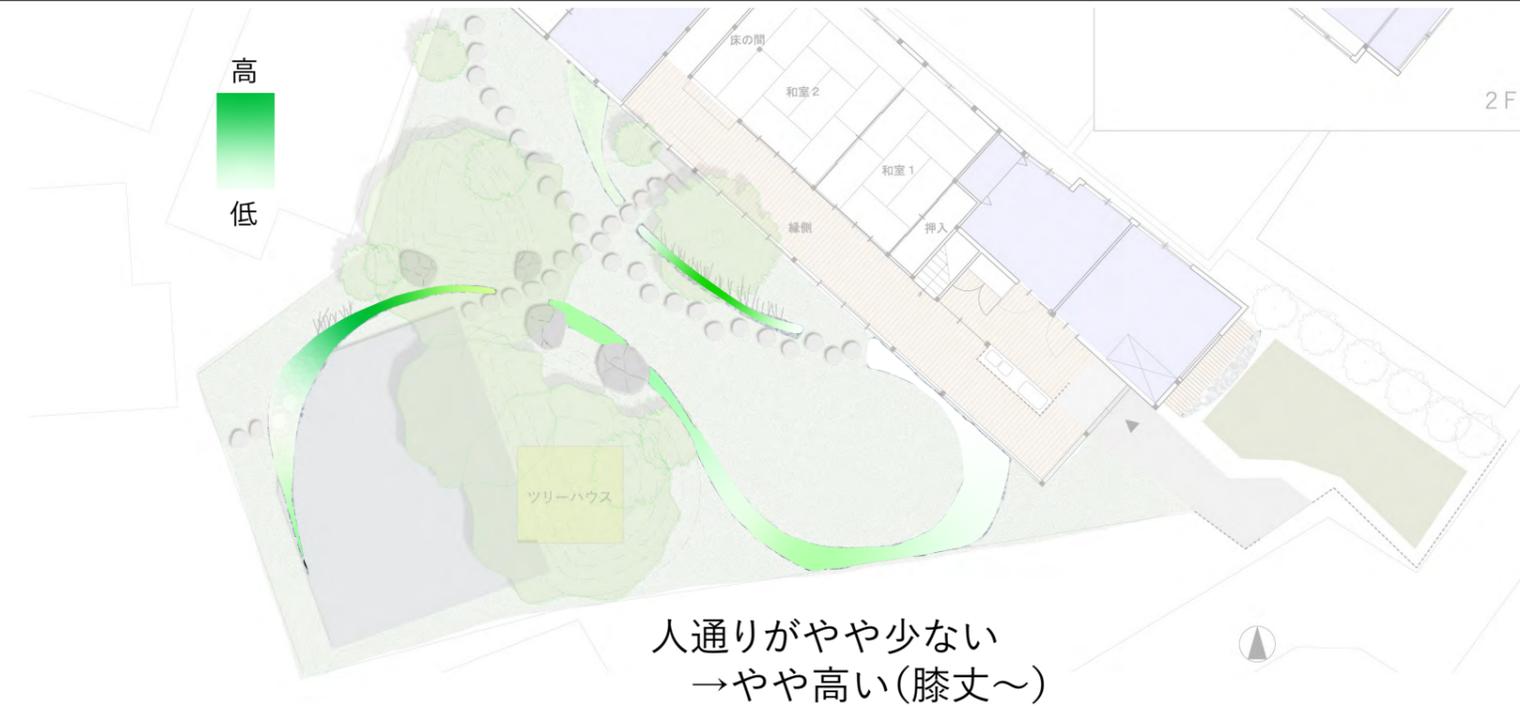


@みやま保育園
 造園設計=西海園芸
 地域と保育園をつなぐ土地の原風景を再現した「まちの庭」
 (雑誌『庭 NIWA 2017 春』より)

@子供のセラピー・ガーデン
 ダグラス・リード・ランドスケープ・アーキテクチャ

@毛越寺庭園

■ 植栽の種類



人通りが多い
→低い(くるぶし～)

人通りがやや少ない
→やや高い(膝丈～)

人通りが少ない
→高い(目線～)



【セキショウ】
 ・ショウブ科
 ・多年草
 ・20～30cm
 ・開花：－



【アゼスゲ】
 ・カヤツリグサ科
 ・多年草
 ・20～80cm
 ・開花：－



【オミナエシ】
 ・スイカズラ科オミナエシ属
 ・落葉性多年草
 ・100～150cm
 ・開花：初夏～秋
 ・放任してもよく育つ



【ヤブラン】
 ・キジカクシ科ヤブラン属
 ・多年草
 ・～30cm
 ・開花：初夏～夏



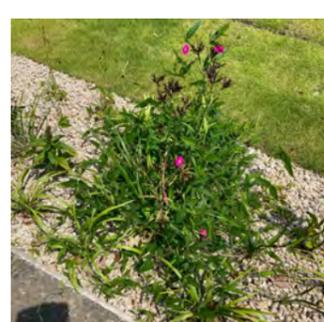
【アキノキリンソウ】
 ・キク科アキノキリンソウ属
 ・多年草
 ・70～80cm
 ・開花：夏～秋



【ミソハギ】
 ・ミソハギ科
 ・多年草
 ・100cm
 ・開花：夏



【ヒメワレモコウ】
 ・バラ科ワレモコウ属
 ・多年草
 ・30～50cm
 ・開花：夏～秋

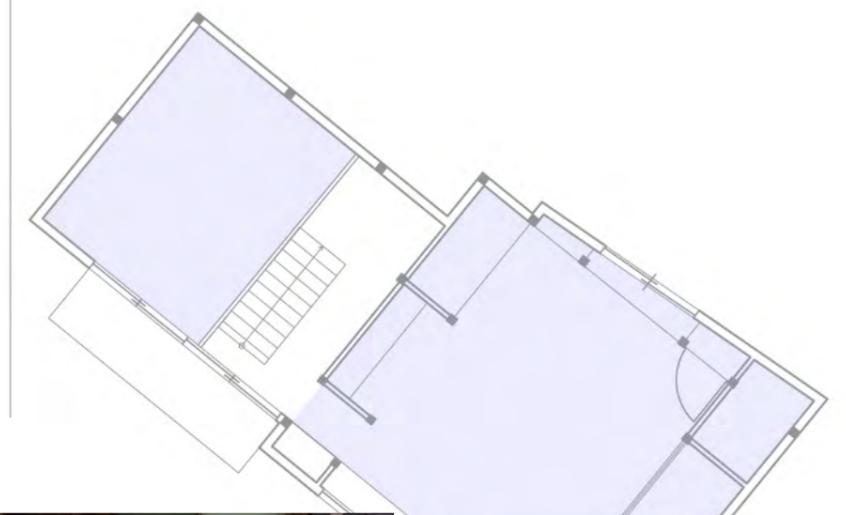


【カワラナデシコ】
 ・ナデシコ科ナデシコ属
 ・多年草
 ・30～80cm
 ・開花：夏～秋



【イトススキ】
 ・イネ科ススキ属
 ・多年草
 ・20～80cm
 ・開花：－

■ 建築A案（縁側-キッチン-ベンチ）の場合 ー空間の様子



・雨樋+水瓶
・雨の日の池の復活

・基礎の一部を削って残す
・平らで、倉庫からも近いため、机を出して飲食スペースになったり。

・風にそよぐ植物を眺める

・人が座る場所
→砂利敷のみとし、建築と繋げる

・人通りが少ない場所
→100cmほどの植物

・この線を超えることで、庭に入ったことを感じる。
・人通りがややある場所
→10~20cmほどの植物

・ツリーハウスへのワクワク感
→30~50cmほどの植物

・ポケットパークから庭の様子が見える
・溝の深い部分は腰掛ける場所ともなる

飛び石

ツリーハウス

飛び石

飛び石

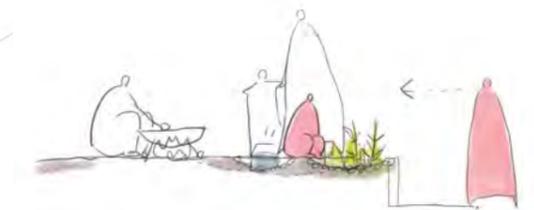
床

押入

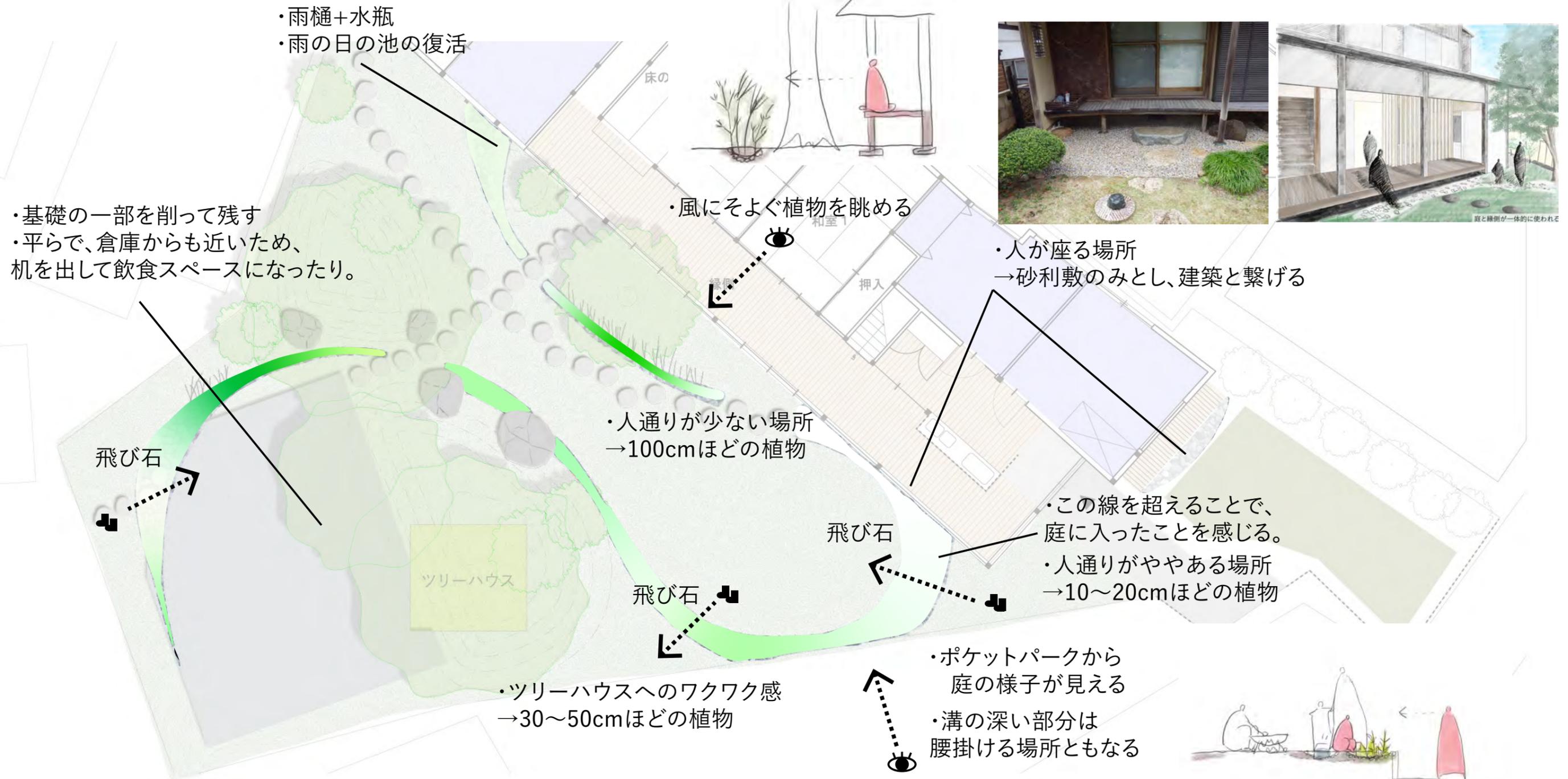
和室



庭と縁側が一体的に使われる



■ 建築A案（縁側-キッチン-ベンチ）の場合 — 植物の高さ



■ 建築A案（縁側-キッチン-ベンチ）の場合 ——溝の幅・深さ

・基礎の一部を削って残す
・平らで、倉庫からも近いので、机を出して飲食スペースになったり。

・雨樋+水瓶
・雨の日の池の復活

物置

床の間

和室2

・風にそよぐ植物を眺める

和室1

・人が座る場所
→砂利敷のみとし、建築と繋げる

縁側

押入

・人通りが少ない場所
→100cmほどの植物

・この線を超えることで、庭に入ったことを感じる。
・人通りがややある場所
→10~20cmほどの植物

飛び石

ツリーハウス

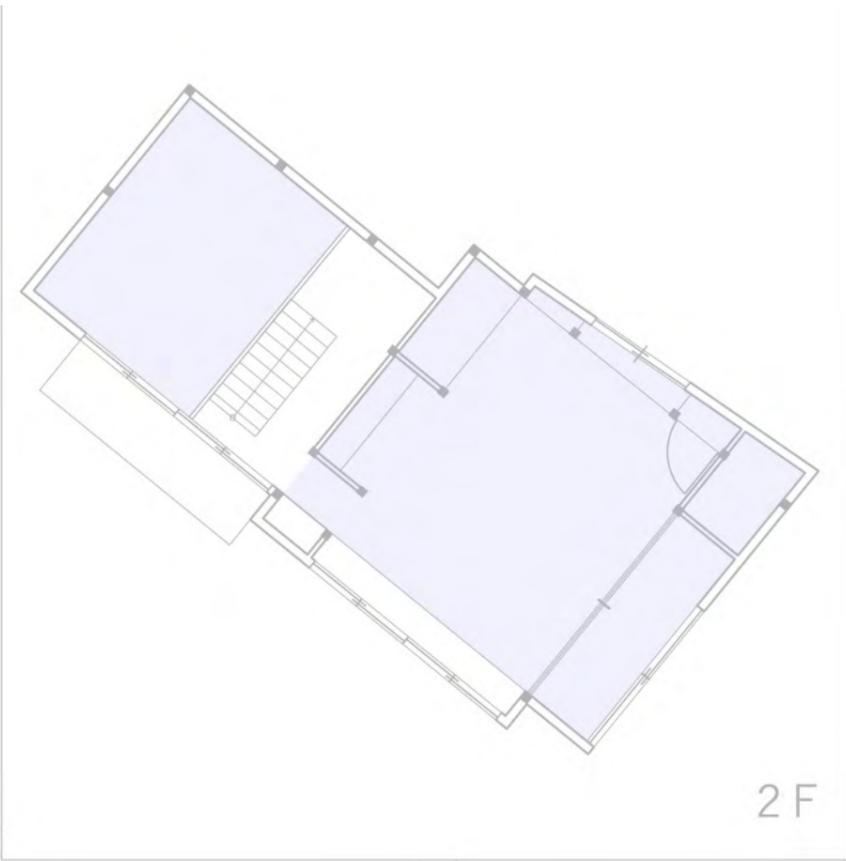
飛び石

飛び石

飛び石

・ツリーハウスへのワクワク感
→30~50cmほどの植物

・ポケットパークから庭の様子が見える
・溝の深い部分は腰掛ける場所ともなる



2F



■建築B案（土間-キッチン）の場合



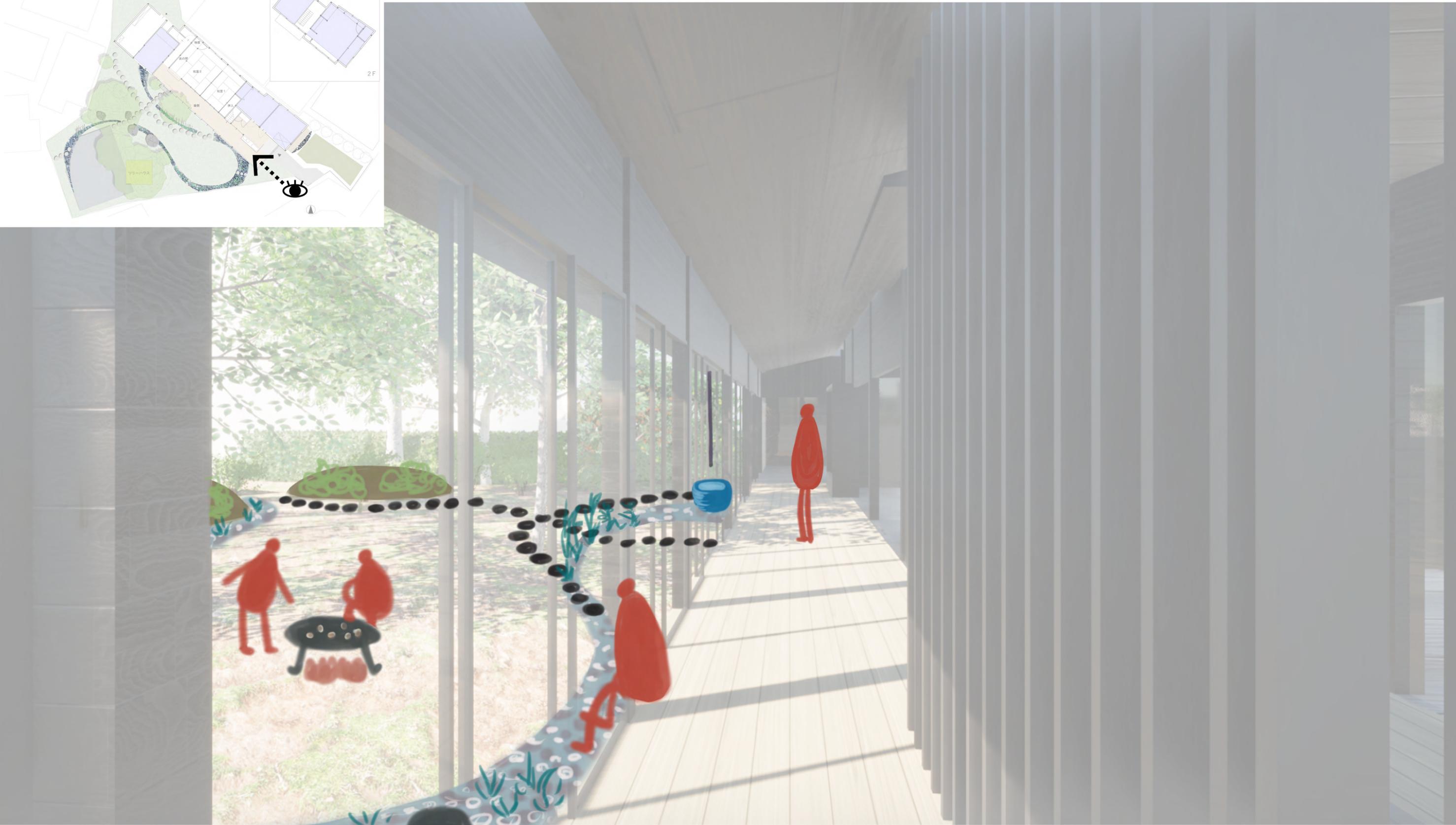
■溝が奥へと引き込む：西側入口からの眺め



■ エントランスからの眺め



■溝によって庭と建築がつながる：キッチン前からの眺め



■雨の落ちる様子を楽しむ：庭から雨樋への眺め

